

『スマート漁業とプラットフォーム学』

～海洋資源の保全と豊かな食文化の維持を目指して～

すしざんまい木村社長と“船団”を持つ漁業ベンチャー、
スマート漁業事業者・研究者が語る

ICT技術の活用で資源保全と両立しうるか？



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第3回の今回は「スマート漁業×プラットフォーム学」がテーマ。SDGsのゴール14「海の豊かさを守ろう」を目標に、ICTやセンシング技術、ビッグデータ解析などを利活用しながら、海洋資源の保全を果たしつつ、同時に従事者減少などの産業課題を解決していける、持続可能なこれからの漁業や水産業の在り方を議論します。

〈イベント概要〉

- 開催：2021年9月29日(水)
 - 時間：12:00～14:15(履修生は14:30終了予定)
 - 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
 - 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
 - 事前応募制：オンラインセミナー(Zoomウェビナー形式※)
- ※セミナーで参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要があります。

お申し込みはこちら
(9月27日17時締切)

登壇者

木村清氏 株式会社喜代村(すしざんまい) 代表取締役社長
坪内知佳氏 萩大島船団丸 代表 / 株式会社 GHIBLI 代表取締役
三田村啓理 教授 京都大学 農学研究科 応用生物科学専攻
原田博司 教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター
ほか、セミナーテーマに関連する企業担当者の登壇を予定